

日本版DMO形成・確立計画

1. 日本版DMOの組織

申請区分	広域連携DMO・地域連携DMO・ <u>地域DMO</u>	
日本版DMO候補法人の名称	(一社) 美祢市観光協会	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 山口県 美祢市	
所在地	山口県美祢市秋芳町秋吉 3506-2 秋吉台観光交流センター	
設立時期	平成 22 年 6 月 美祢市観光協会 発足 平成 25 年 4 月 一般社団法人美祢市観光協会 設立	
職員数	職員 13 人【(正職員 3 名、契約社員 7 人、出向者 2 人)、非常勤 1 人】	
代表者(トップ人材: 法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者) ※必ず記入すること	(氏名) 山本 勉 (出身組織名) 一社) 美祢市観光協会	元美祢市総合観光部長の経歴を持ち、退職後、(一社) 美祢市観光協会の会長として、地域の様々なパイプ役となっている。
業務執行全般および行政との連絡調整の責任者(専門人材)	(氏名) 水谷 雅哉「専従」 (出身組織名) 一社) 美祢市観光協会	平成 28 年 11 月に当協会の専務理事に就任。JTB 退社後、山口県へ入庁。観光振興課にて県全体の観光振興に尽力する。
各種データの分析・収集等(マーケティング)の責任者(専門人材) ※必ず記入すること	(氏名) 下田 一智「専従」 (出身組織名) 一社) 美祢市観光協会	平成 31 年 4 月より当協会に勤務。前職では日本各地の地域創生関連業務に長年従事。ANA 山口支店時代には岩国錦帯橋空港の開港を担当し、山口県全域に幅広い人脈と各地のマーケット特性を含む知見を持つ。
旅行商品の造成・販売の責任者(専門人材)	(氏名) 栗林 美一「専従」 (出身組織名) 一社) 美祢市観光協会	平成 26 年 4 月より当協会に勤務。サンデン交通、及びサンデン旅行社での経験を活かし、美祢市の地旅などの企画・商品設定に高い能力を持つ。
プロモーションの責任者(専門人材)	(氏名) 藤里 佳久「専従」 (出身組織名) 一社) 美祢市観光協会	平成 28 年 5 月より当協会に勤務。近畿日本ツーリストで培った観光プロモーションや観光企画各種調整に高い能力を持ち、当協会のホームページ担当者を兼務している。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	美祢市 ・ 総合政策部地域振興課(生活交通対策など) ・ 観光商工部観光総務課(観光事業の庶務経理、観光施設の維持管理など) ・ 観光商工部観光振興課(観光総合計画、観光振興全般など) ・ 観光商工部世界ジオパーク推進課(ジオパーク登録及び認定など) ・ 観光商工部商工労働課(道の駅、第3セクターなど) ・ 観光商工部六次産業振興推進室(六次産業の認定・登録など) ・ 教育委員会事務局文化財保護課(文化財関係施設の管理など)	

(別添) 様式 1

	<p>山口県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光スポーツ文化政策課（観光政策の企画・立案、広域観光、観光施設整備・活用、マーケティング、プロモーション、インバウンド等） ・観光スポーツ文化観光プロモーション推進室（国内観光旅客誘致など） ・観光スポーツ文化インバウンド推進室（外国人観光客誘致など） ・観光スポーツ文化交通政策課（鉄道、バス、海運、航空など）
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>○当協会の会員（別途、名簿あり）</p> <p>NPO 法人里山ネットワーク（家族旅行村・秋吉台リフレッシュパーク）、美祢地区宿泊業組合（仮称）、秋吉台自然動物公園サファリランド、美祢観光開発（道の駅運営）、美祢森林開発（自然保護・植林伐採）、商工会（商工振興・雇用・経営支援）、美祢地区タクシー協同組合、飲食店、美祢ケーブルビジョン（情報発信・市民への観光意識向上）、市民団体（秋芳八代ぬくもりの里・赤郷地区振興会・堅田まちづくり協議会・マナガタベース・おむすびの里）、山口県古民家再生協会ほか</p> <p>○観光交流連携協定締結事業者</p> <p>日本航空株式会社（観光振興・環境保全・人づくりなど）</p> <p>○当協会は以下の協議会に参画しており、必要に応じて連携した取り組みをおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会 ➢ ながと路観光連絡協議会（長門市・萩市・美祢市・阿武町・益田市・津和野町） ➢ 長州路観光連絡会（下関市・長門市・美祢市・萩市） ➢ 美祢市・山口市観光交流パートナー協議会 ➢ 一社）山口県観光連盟（やまぐちDMO）・・・情報発信 ➢ 一社）せとうち観光推進機構（せとうちDMO）・・・情報発信
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>（該当する要件）</p> <p>①及び②</p> <p>（概要）</p> <p>①当協会には多種多様な業界から会員 211 名（社・団体・個人／賛助会員含む）が参画している。年に 1 度の総会のほか、役員により形成する理事会（毎月開催）にて方向性の確認や情報共有をおこなっている。</p> <p>②美祢市が持つ地域資源を最大限に活用し、観光による町づくりを戦略的に推進していくため、『美祢DMO推進会議』を設置し、協会会員、非会員を問わず様々な意見を取り入れ、現状に沿った取り組みを着実に取りおこなっていく。</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>○講演会、研修会、ワークショップなどの開催</p> <p>おもてなし人材育成事業を実施、ご当地検定やおもてなし講座など、市民全てが観光アドバイザーとなるように質の向上に取り組んでいる。</p> <p>※観光・宿泊施設、学校など市内 16ヶ所にて実施（令和元年度実績）</p>
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>（活動の概要）</p> <p>○平成 22 年 6 月に美祢市観光協会が発足。平成 25 年 4 月に一般社団法人美祢市観光協会となり、美祢市全域の観光振興に寄与してきた。現在、スポーツツーリズムを中心に見るだけではない観光誘客に注力している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市内の観光案内所（秋吉台観光交流センター、JR美祢駅内）の運営 ②観光パンフレット、観光PRツールの制作・配布 ③関係機関や会員相互の連携強化

	<p>④地旅の企画・販売や、一般旅行会社への営業活動 (令和元年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆<u>募集型企画旅行</u> : 19本/338名様 集客 <ul style="list-style-type: none"> ・秋吉台上でのトレッキングツアー ・天の川、流星群など星空観察会ツアー ・野草の勉強会などのエコツアー を実施 ◆<u>受注型企画旅行</u> : 7本/216名様 集客 <ul style="list-style-type: none"> ・自転車大会に関する外部からの旅行手配委託 ◆<u>ホールセール (旅行会社への誘客活動)</u> : 6本/943名様 集客 <ul style="list-style-type: none"> ・各旅行会社へのスポーツツアー、エコツアーの企画提案 <p>⑤レンタサイクル・レンタル電動自動車事業の実施</p> <p>⑥各種事務局の運営 (美祢市・山口市観光交流パートナー協議会、秋吉台観光まつり実行委員会、秋吉台かるすとタクシー運営協議会、秋吉台カルスト TRAILRUN 実行委員会など)</p> <p>⑦その他自主事業の実施 (みねすとろん: 最長110kmにもなる自転車ロードレース、市内を縦横に走行する人気の自転車大会)</p> <p>(定量的な評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内宿泊施設 延べ宿泊者数 H30 年度: 60,992 人 ○レンタサイクル事業の利用者数 H30 年度: レンタサイクル貸出数 265 件 ○地旅商品の利用者数 H30 年度: 主催ツアーの販売数 29 コース/参加申込者数 370 名 ○ホームページアクセス数 (ユーザー/ページビュー数) H30 年度: 414,982 名/1,179,928 件
<p>実施体制</p>	<p>(実施体制の概要)</p> <p>一社) 美祢市観光協会が母体となり、メンバーには、行政、宿泊業者、飲食業者のみならず、交通事業者、農業者など多様な関係者が参画するなど官民が密接に連携した運営を実施。</p> <p>(実施体制図)</p> <p>美祢版DMO組織図</p> <p>各企業・市民が一体となった魅力的な観光地づくり</p>

2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



美祿市は山口県西部のほぼ中央に位置しており、県庁所在地である山口市、県下最大の中核市である下関市と隣接し、市内を縦断するJR美祿線は瀬戸内側と日本海側をつなぐ交通の要所となっている。本市の大きな魅力のひとつに日本最大のカルスト台地「秋吉台」を有しており、悠久の歴史を感じる大自然や日本屈指の鍾乳洞である「秋芳洞」をはじめとする数多くの鍾乳洞など市内全域が日本ジオパークに認定されており、対象とする区域はその全てとする。

【観光客の実態等】

美祿市への観光客数

平成26年	1,391千人
平成27年	1,613千人
平成28年	1,481千人
平成29年	1,551千人
平成30年	1,398千人

(別添) 様式 1

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

自然

秋吉台、秋芳洞、大正洞、景清洞、別府弁天池、万倉の大岩郷、カキツバタ群生地、秋芳白糸の滝、水神公園

歴史

桜山公園・南原寺、金麗社、石屋形羅漢山磨崖仏

レジャー

美祢市養鱒場、秋吉台サファリランド、秋吉台家族旅行村

文化施設

長登銅山文化交流館、秋吉台科学博物館、秋吉台エコミュージアム、美祢市歴史民俗資料館、美祢市化石館

商業施設

森の駅、道の駅みとう、道の駅おふく・於福温泉

温泉

於福温泉、景清洞トロン温泉、湯の口温泉

イベント

みね桜まつり、銅山まつり、秋吉台観光まつり花火大会、美祢ランタンナイトフェスティバル、秋吉台山焼き

スポーツ

美祢秋吉台カルストウォーク、美祢秋吉台ジオパークマラソン、フォトロゲイニング

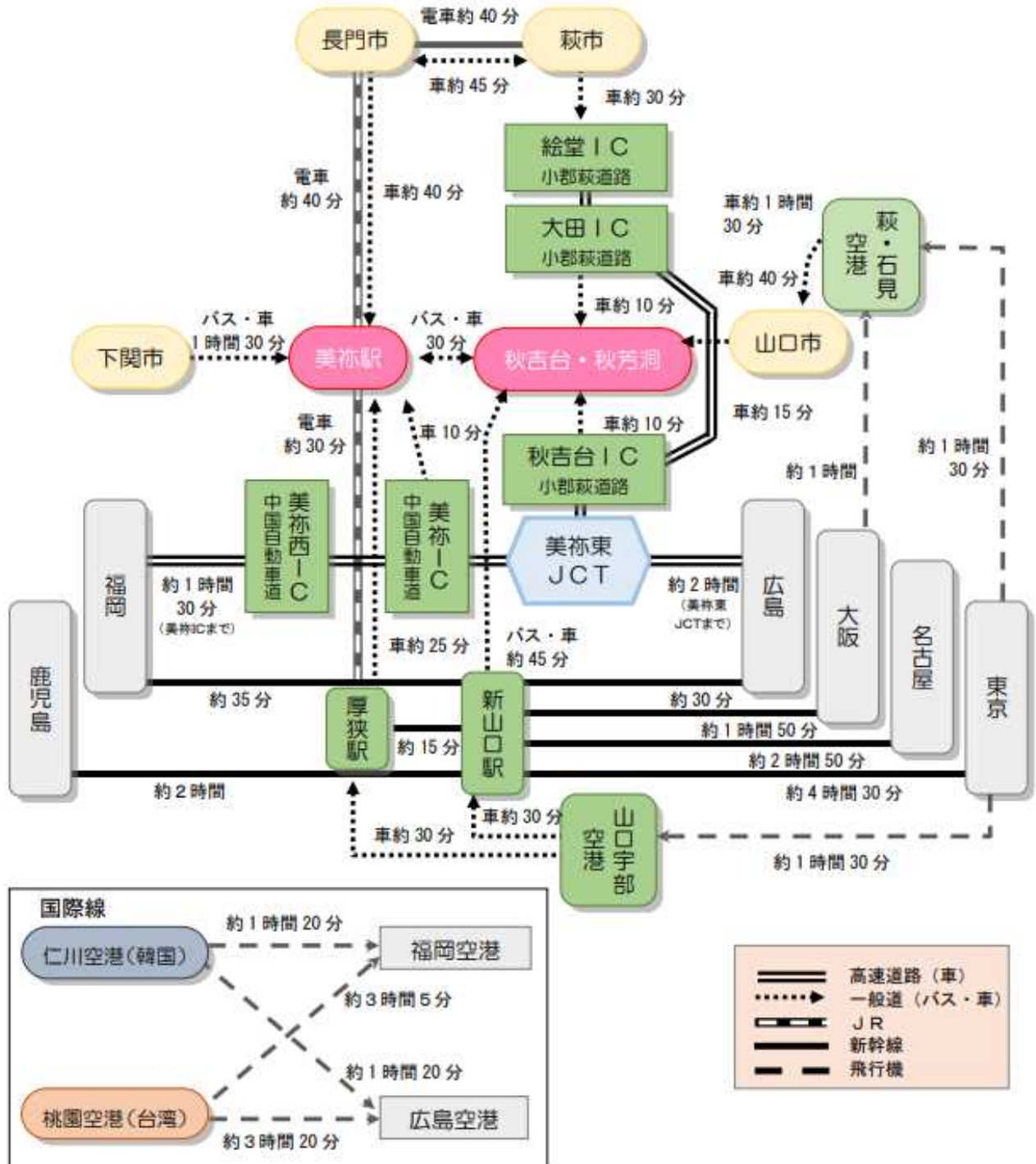
【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

市町村名	施設数	客室数	収容力	施設規模			
				～20名	21～50名	51～100名	101名～
美祢市	12	171	564	7	2	2	1

(別添) 様式 1

【利便性：区域までの交通、域内交通】

新幹線 新山口駅からはバス・車で45分、同厚狭駅からはJR美祢線が存在し、日本海方面へと縦断している。また山口宇部空港からも車で60分と主要な玄関口からの距離は比較的短いものの、それぞれの発着本数や市内の各観光地等に繋がる輸送能力については、全く無いか脆弱であるという事が大きな課題である。



(別添) 様式 1

【外国人観光客への対応】

当地においては、基本的に英語・中国語対応の職員を配置しており、JNTO認定外国人観光案内所のカテゴリ-2を取得している。更にポータブル翻訳機【ワールドスピーク】を設置し、150以上の言語にて対応が可能な環境を準備してある。また「災害時におけるJNTOの対応と観光案内所の役割について」の全国研修会に職員を派遣し、案内所としてのスキルアップに努めている。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
観光客数	観光消費額の推計	通信機器を活用した国籍別・訪問時刻別などの行動調査
延べ宿泊客数	事業効果測定、戦略の見直し、観光消費額の推計	宿泊施設への調査
延べ外国人宿泊数	事業効果測定、戦略の見直し	宿泊施設への調査
観光客動向	事業効果測定、戦略の見直し	アンケート調査
観光客満足度	事業効果測定、戦略の見直し	アンケート調査
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客関心度、施策効果等の測定把握	Google、アナリティクス等のシステム内の機能による

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自然の遺産、国定公園であり特別天然記念物の指定を受ける「秋吉台」が存在する。 ● 「秋芳洞」「大正洞」「景清洞」の雰囲気異なる三洞を保有。 ● 日本最大級のカルスト台地 	<p>弱み (Weaknesses)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市内公共交通 ● 宿泊施設数 ● 飲食店舗数 ● 後継者不足 ● 代表する食、土産品が不十分 ● 滞在時間が短い ● インバウンド対応の遅れ
外部環境	<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東京オリンピック・パラリンピック開催 ● 訪日外国人旅行者の増加 ● 周辺観光地の人気上昇と知名度向上 	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 立地 (JR・空港など主要駅からの二次交通) ● 国内の人口減少 ● 観光分野における地域間競争の激化 ● ミレニアル世代の大都市圏集中

(別添) 様式 1

(2) ターゲット

<p>○第1ターゲット層 米、英、仏、独、豪を中心とした欧米個人客</p>
<p>○選定の理由 訪日インバウンドが日本ツアーにおいて期待する欲求の中で、当該ターゲット層に関しては自然・歴史などの当市が持つ観光素材にマッチする部分と、日本での滞在日数、及び1人当たりの旅行支出額の費目のなかで、交通費が大きいことから東京・関西地区からの移動距離・費用を考慮するなかで選択した。</p> <p>○取組方針 ・隣県である広島までは多くの当該インバウンドが訪問しているため、デジタルプロモーションをおこない「旅マエ」に重ねて、「旅ナカ」での告知・誘導を実施する。 ・ ジャパンレールパスの利用者を中心に告知媒体を決定し、誘引・訴求をおこなう。</p>
<p>○第2ターゲット層 中国(香港・台湾)・韓国・タイ・ベトナム・シンガポールを中心とした、アジア圏からの個人客(リピーター)</p>
<p>○選定の理由 すでにグループツアー等において複数回の訪日経験がある東アジア及び、成長著しい東南アジアからのリピーター客は、東京・富士山・京都・大阪のゴールデンルートから日本各地の観光地へとシフトしている。</p> <p>○取組方針 ・ 特に福岡空港からの流入が多くみられるため、九州エリアにて欧米インバウンド同様に「旅マエ」および「旅ナカ」での告知・誘導を実施する。 ・ 買い物目的の旅客以外の日本の四季を体験したい客層(リピーター)に対し、それぞれの季節で楽しめる秋吉台の自然を中心とした情報をSNSなどのWebを活用して広範囲に発信していく。</p>
<p>○第3ターゲット層 首都圏・関西圏などの大都市圏在住の個人客</p>
<p>○選定の理由 協会が管理運営しているホームページにおいて地域別のアクセス数を見ると、大阪府が一番多く、また東京都や神奈川県といった首都圏の各県も上位に位置することから、国内の主たるターゲットとして選択した。</p> <p>○取組方針 ・ 秋吉台を中心とした市内広域の観光コンテンツをプログラム化し、来訪時の滞在時間の延長による経済効果の波及を狙ったプロモーションを展開する。 ・ リピーター化しない洞窟入場観光以外で、ケービングツアーなどのニッチマーケットを狙ったツアーや、現在実施している四季それぞれの植物・食・文化(祭りなど)を絡めた地旅商品をWebを利用して広範囲に告知し、来訪頻度を上げることで地域全体の活性化に繋げる。</p>

(3) コンセプト

①コンセプト	観光立市をめざす、おもてなしのまち ～来訪者に感動を与える美祢ブランドの提供～
②コンセプトの考え方	おもてなしのまち美祢観光振興条例の趣旨であり、現行「美祢市観光振興計画」の基本理念でもある『観光立市をめざす、おもてなしのまち』を据え、Mine 秋吉台ジオパーク、「ミネコレクション」といった美祢ブランドの提供による観光産業活動を高め、来訪者へ感動を実感していただく取り組みによりおもてなしの心あふれる観光地をめざします。 おもてなしを基調に、市民、観光事業者、観光関係団体、市内事業者、学術関係団体、行政が連携し、資源の活用と保全を行い、交流活動の一層の活性化をめざします。 美祢版DMOも美祢市の基本理念にならい、観光による地域まちづくりを推進していく。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	○観光協会を中心として、行政や商工関係、観光・飲食関連、交通事業者等の各種団体と毎月開催する【美祢DMO推進会議】内にて、情報・意見交換を行った上でPDCAサイクルに基づいた戦略を共有する
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	○案内サインやデジタルパンフレット等、情報発信ツールの多言語化への対応 ○市民レベルでの外国人観光客へのおもてなし対応の強化 ○JNTOカテゴリー2を取得している総合観光案内所のサービスレベルの向上 ○アンケート調査の実施及び分析
一元的な情報発信・プロモーション	○外国人観光客向けの他言語専用ホームページのブラッシュアップを図り、情報発信を充実する ○外国人観光客向けのプロモーション映像の制作 ○美祢市の総合的な観光情報の発信機能を受け持つ、観光協会のホームページからの情報発信や、SNSを利用したリアルタイムで効果的なプロモーションを実施

6. KPI (実績・目標)

(1) 必須KPI

指標項目	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
●旅行消費額		未調査	未調査	調査開始	目標設定	目標設定	目標設定

(別添) 様式 1

●延べ宿泊者数	千人	61	調査中	62.9	63.5	64.3	65.2
●来訪者満足度	点	3.78	未調査	3.85	3.90	3.95	4.00
●リピーター率	%	48	調査中	52	54	56	58

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

<p>【検討の経緯】 新たに調査を開始するのではなく、現在実施している調査を活用または、拡充することで対応することとした。 目標値については、県全体の観光トレンドによって増減する部分大きいのが、市で作成する他の諸施策と整合性を図り検討を行う。</p> <p>【設定にあたっての考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●旅行消費額 現在、把握していない。従来から市で実施している「来訪者意識・動態調査」に新たに項目を設定、調査し目標値を設定する。 (令和2年度内に1000人規模の調査アンケートを実施し、消費額の分析をおこなう) ●延べ宿泊者数 山口県が実施している「山口県の宿泊者及び観光客の動向」により調査する。平成25年に約7万人を記録していることから、令和10年に7万人となるよう年1.4%の伸び率で目標値を設定する。 ●来訪者満足度 従来から市で実施している「来訪者意識・動態調査」により継続して調査する。5点満点の評価基準とし、全体的に満足度の底上げを図るため年0.05ポイントの上昇を目標値として設定する。 ●リピーター率 従来から市で実施している「来訪者意識・動態調査」により継続して調査する。 市総合計画の数値目標と整合性を図る。

(2) その他の目標

指標項目	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
●レンタサイクル利用者数	人	265人	設定中	設定中	設定中	設定中	設定中
●インバウンド用プログラム	件	なし	設定中	設定中	設定中	設定中	設定中
●観光協会HPアクセス数(外国語ページ)	件	未調査	構築中	7月開始	実施	実施	実施

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

インバウンド獲得に向け、当地におけるその動向、嗜好、興味を持つ内容を深堀するため、今後、その判断材料になるデータの収集・分析を実施していく。

P D C Aサイクルの“チェック”のタイミングは、機動的に動くことを第一に考え、マーケット状況を踏まえ柔軟に対応していく。

【設定にあたっての考え方】

● レンタサイクル利用者数

最大の魅力である秋吉台を中心とした各観光地へのアクセス方法として、公共交通機関が脆弱であるため、レンタサイクルをさらに広くPRして邦人・インバウンド関係なく取り込んでいく。

● インバウンド用プログラム

当地のみでしか体験できない『オンリーワン』プログラムの開発とともに、インバウンドの嗜好に合致する日本体験プログラムを複数設定し誘客に繋げる。

⇒市内に多く点在する未公開洞窟を探検するケービングツアー、古民家再生DIYプログラムなど、この地区でこれまでにない体験ツアーを企画・立案中である。

● 観光協会HPアクセス数（外国語ページ）

これまで日本語ページのみ閲覧数チェックであった状況から、英語を中心とした他言語でのアクセス数を把握し、「旅ナカ」インバウンドへの効果的な告知がおこなえるホームページの構築を目指す。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年度	総収入（円）	内訳
平成28年度	54,260,512	【市からの補助金】
		25,413,100
		【市からの委託料】
		24,201,560
		【会費収入】
平成29年度	81,695,273	【収益事業収入】
		1,844,000
		【その他の収入】
		2,309,135
		492,717
平成29年度	81,695,273	【市からの補助金】
		48,391,510
		【市からの委託料】
		26,156,000
		【会費収入】
平成29年度	81,695,273	【収益事業収入】
		1,723,000
		【その他の収入】
平成29年度	81,695,273	2,777,898

(別添) 様式 1

			2,646,865
平成30年度	99,919,840	【市からの補助金】	62,603,000
		【市からの委託料】	29,476,538
		【会費収入】	1,699,000
		【収益事業収入】	4,609,589
		【その他の収入】	1,531,713
令和元年度	91,023,000	【市からの補助金】	63,743,000
		【市からの委託料】	22,010,000
		【会費収入】	1,720,000
		【収益事業収入】	2,600,000
		【その他の収入】	950,000
令和2年度	96,926,000	【市からの補助金】	68,217,000
		【市からの委託料】	22,629,000
		【会費収入】	1,730,000
		【収益事業収入】	3,350,000
		【その他の収入】	1,000,000
令和3年度	97,426,000	【市からの補助金】	68,217,000
		【市からの委託料】	22,629,000
		【会費収入】	1,730,000
		【収益事業収入】	3,850,000
		【その他の収入】	1,000,000
令和4年度	97,926,000	【市からの補助金】	68,217,000
		【市からの委託料】	22,629,000
		【会費収入】	1,730,000
		【収益事業収入】	4,350,000

(別添) 様式 1

		【その他の収入】	1,000,000
令和5年度	98,426,000	【市からの補助金】	68,217,000
		【市からの委託料】	22,629,000
		【会費収入】	1,730,000
		【収益事業収入】	4,850,000
		【その他の収入】	1,000,000

(2) 支出

年度	総支出	内訳	
平成28年度	50,762,331	【一般管理費】	24,550,468
		【事業費】	26,211,863
		・着地型観光企画運營業務 (7,924,000)	
		・おもてなし人材育成費 (7,276,000)	
		・その他 (11,011,863)	
平成29年度	78,283,700	【一般管理費】	51,747,940
		【事業費】	26,535,760
		・着地型観光企画運營業務 (7,865,000)	
		・おもてなし人材育成費 (7,975,000)	
		・その他 (10,695,760)	
平成30年度	95,814,803	【一般管理費】	63,063,446
		【事業費】	32,751,357
		・来訪者意識調査、動態調査 (2,489,000)	
		・おもてなし人材育成費 (2,500,000)	
		・その他 (27,762,357)	
令和元年度	91,023,000	【一般管理費】	64,175,000
		【事業費】	24,380,000
		・観光プロモーション費 (12,780,000)	
		・着地型観光企画費 (3,400,000)	
		・おもてなし人材育成費 (2,700,000)	
		・観光地域づくり、新たなツーリズム (5,500,000)	
		【その他支出】	2,468,000

(別添) 様式 1

令和2年度	96,926,000	【一般管理費】 64,175,000 【事業費】 30,880,000 ・観光プロモーション費 (12,780,000) ・着地型観光企画費 (3,400,000) ・おもてなし人材育成費 (2,700,000) ・DMOにおけるインバウンド対策事業 (12,000,000) ・【その他支出】 1,871,000
令和3年度	97,426,000	【一般管理費】 64,175,000 【事業費】 30,980,000 ・観光プロモーション費 (12,780,000) ・着地型観光企画費 (3,200,000) ・おもてなし人材育成費 (3,000,000) ・DMOにおけるインバウンド対策事業 (12,000,000) ・【その他支出】 2,271,000
令和4年度	97,926,000	【一般管理費】 64,175,000 【事業費】 30,630,000 ・観光プロモーション費 (12,780,000) ・着地型観光企画費 (2,850,000) ・おもてなし人材育成費 (3,000,000) ・DMOにおけるインバウンド対策事業 (12,000,000) ・【その他支出】 3,121,000
令和5年度	98,426,000	【一般管理費】 64,175,000 【事業費】 30,430,000 ・観光プロモーション費 (12,780,000) ・着地型観光企画費 (2,650,000) ・おもてなし人材育成費 (3,000,000) ・DMOにおけるインバウンド対策事業 (12,000,000) ・【その他支出】 3,821,000

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- レンタサイクル事業・電動自動車レンタル事業による収益の確保。
○着地型観光企画運営事業（国内・海外観光客への地元の観光資源を活用したコンテンツ企画実施・販売）による収益の確保。
○県・市などの委託事業、各種イベント事務局の受託による収益の確保。

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

山口県美祢市は、一般社団法人美祢市観光協会を当地における日本版DMOとして登録したいので、一般社団法人美祢市観光協会とともに申請します。

9. 記入担当者連絡先

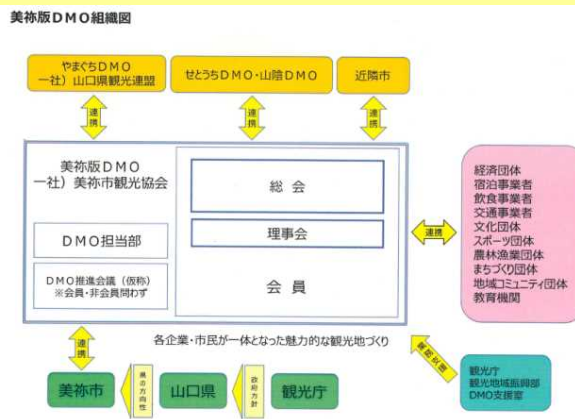
担当者氏名	水谷雅哉
担当部署名 (役職)	専務理事
所在地	山口県美祢市秋芳町秋吉 3506-2 秋吉台観光交流センター
電話番号 (代表)	0837-62-0115
FAX 番号	0837-62-0899
E-mail	mizutani@akiyoshidai.com

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

担当者氏名	早田忍
担当部署名 (役職)	観光商工部観光振興課 課長
所在地	山口県美祢市秋芳町秋吉 3506-2 秋吉台観光交流センター
電話番号 (代表)	0837-62-1430
FAX 番号	0837-62-0105
E-mail	kankoushinkou@city.mine.lg.jp

【区 域】山口県美祢市
【設立時期】平成25年4月
【代表者】一般社団法人美祢市観光協会
会長 山本 勉
【マネジメント責任者】水谷雅哉
【マーケティング責任者】下田一智
【職員数】13人
【連携する主な事業者】商工会、宿泊事業者、
交通業者、飲食関係業者、小売業者、
その他各種団体等

(表：実施体制)



(表：KPI(実績・目標))

指標項目	単位	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
● 旅行消費額		未調査	未調査	—	—	—	—
● 延べ宿泊者数	千人	61	調査中	62.9	63.5	64.3	65.2
● 来訪者満足度	点	3.78	未調査	3.85	3.90	3.95	4.00
● リピーター率	%	48	調査中	52	54	56	58

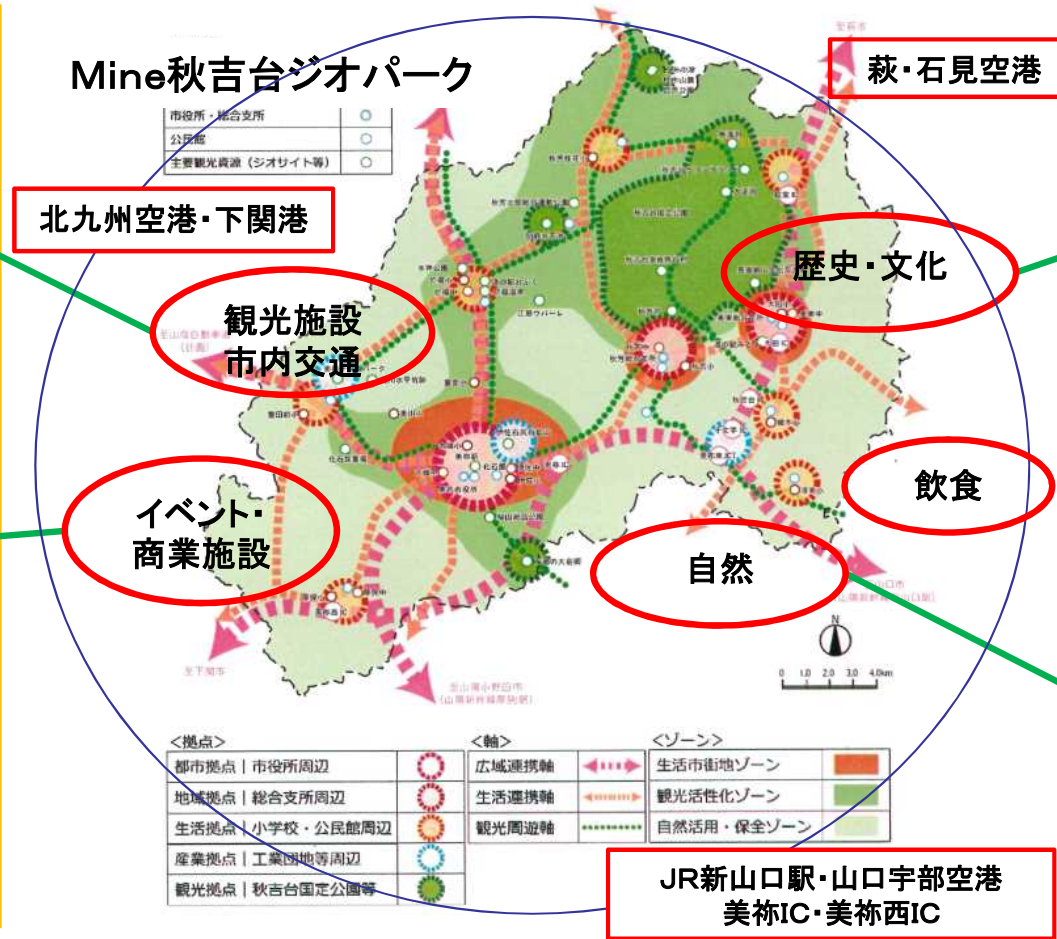
観光施設・交通に関する取組

- 交通アクセスの整備
乗合タクシーなどの運行コース、発着時間の見直しと旅行者ニーズの再調査
- 観光施設等環境の改善
計画的な改修を行い、安全・利便性・快適性の向上を図る。

イベント・商業施設に関する取組

- サービスの改善、及び意識向上
観光における連携協定を結ぶ、日本航空によるおもてなし講座の実施と継続。
- 受け入れ態勢の整備
観光ガイドの育成(英語ガイドが必要)
- 情報提供の充実
ホームページの活用、デジタル広告によるタイムリーな情報提供の強化

Mine秋吉台ジオパーク



歴史・文化に関する取組

- 食文化やカルスト台地が磨いた水などの情報発信
- 長登銅山、江原地区など貴重な歴史・文化資源の発信
- 観光コンテンツの発掘と商品化

自然に関する取組

- 海外のジオパークとの観光・学術交流の実施
- 『使う秋吉台』をコンセプトにした、滞在型プログラムの拡充
- 山口大学との協定による、研究分野・教育分野での取り組みの深化
- 秋吉台地域に生息する固有種、絶滅危惧種、希少種などの植物の保護と管理